

きょうしつ ステップ教室たより

日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
令 和 6 年 1 1 月 6 日
特別支援教室【ステップ教室】



様々な色の落ち葉が舞い落ち、秋も深まる頃となりました。運動会という行事を通して、子供たちは、最後まであきらめずに頑張る力や臨機応変な対応力などを身に付け、また一回り大きく成長したと感じています。大人も子供も疲れがたまってくる時期です。こんな時こそ、子供のいいところをたくさん見つけて褒めることを意識して見ませんか？2学期後半も、子供たちの課題に沿った、より良い支援を行っていきます。



褒め上手を目指そう！



褒めることの大切さをわかっていても、実践することはなかなか難しいことです。コツは、きちんと（大人が求めている100%）できたら褒めるのではなく、小さな達成（子供が当たり前の行動をしているとき、普通にしているとき）でもこまめに褒めることです。（これを25%ルールと言います）誰でも、褒められると嬉しいですし、家庭を温かい言葉でいっぱいにすると穏やかな気持ちが育ち、他者に対しても同じように接する子に育ちます。みんなで褒め上手を目指しましょう！めざせ一日30回！！

褒め言葉の種類

- 褒める 「静かに待っていて偉いね。」「勉強頑張ったね。」「さすが！」「すてき！」
- 認める 「素直に謝れたね。」「よくたたかないで我慢できたね。」
- 応援する 「その調子で頑張って！」「頑張っているね。」
- 感謝する 「手伝ってくれてありがとう。」「助かったよ。」

褒め言葉を補強する動作

- ・頭をなでる
- ・笑顔でうなずく
- ・ハイタッチする
- ・抱きしめるなど

褒め言葉を台無しにする言葉かけに注意！！

褒め言葉をかけたつもりが子供には伝わらなかったり、余計な一言を加えて褒め言葉を台無しにしてしまったりすることがあります。褒め言葉を最大限に活かせるよう活用しましょう。

せっかくの褒め言葉を台無しするNGワード

- ・他人と比較する 「〇〇君は～もできるんだよ。」
- ・すかさず次の課題を与える 「今度は～も出来るようにならないと。」
- ・褒め言葉のあとに嫌味を付け加える 「キレイに片づけられたね。いつもこんな風だと良いんだけど。」

例：漢字の宿題をしているわが子に・・・

チクチクの声掛け

わずかなミスも見逃さず小さな努力は気付かない
「ちゃんと丁寧に書きなさい。」
「この字は良いけど他の字はだめ。」
「このくらいできて当たり前。」
「他の子はちゃんとやっているよ。」



25%ルールの声掛け

多少のミスは見逃して、少しでもいいところを見付ける
「丁寧に書いているね。」
「この字がうまく書けているね。」
「この字と同じくらいうまく書けるかな。」
「その調子でやってごらん。」
「いいペースだね。」

